

大原社会問題研究所五十年史

Ⅴ 戦後

高野房太郎生誕百年記念講演会

一九六八年は、日本における「労働組合の父」といわれる故高野房太郎氏（一八六八～一九〇四年）の生誕百年に当たっている。大原研究所は、同氏が高野岩三郎元所長の実兄であるという関係から、また同氏が労働組合期成会、鉄工組合を組織して我国ではじめて労働運動をおこなったその先駆者的事業を記念して、六八年十一月一五日午後一時から法大五一一番教室において記念講演会を開催した。聴衆約六〇〇名、演題と講演者は次の通りである。

高野房太郎の生涯と事業
日米文化交流について

大島清
大内兵衛

講演会終了後、総長会議室において記念祝賀会が開かれた。故高野房太郎の女婿・原田昌平氏、房太郎とともに職工義友会の同志として協力した故沢田半之助の子息・沢田暢夫氏等の遺族をはじめ、大内、久留間氏ほか四十数名が出席し、高野房太郎、岩三郎兄弟の人柄や事業について語り合った。当日、会場には房太郎関係資料が展示され、二村研究員がその説明に当たった。散会午後七時。

なお六八年一〇月発行の『資料室報』は第一四五号を「高野房太郎生誕一〇〇年記念号」として特集、高野兄弟の論説、横山源之助の追悼文等を掲載した。

法政大学大原社会問題研究所五十年史

発行 1970年11月

編・発行法政大学大原社会問題研究所

[前のページ](#) ← 法政大学大原社会問題研究所五十年史【目次】 → [次のページ](#)

[研究活動・刊行物](#) [OISR.ORG全文検索](#)

[法政大学大原社会問題研究所\(http://oisr.org\)](http://oisr.org)